

デザセン2016

高校生の視点で社会の暮らしの中か問題・課題を見つけ、解決策を考え、発表する

今年のテーマは『明日の社会を見つめ、明日の世界を創造する』

本大会での生活情報科の成績

入選 (最終審査)	『第二次金ゴマ革命』	片岡美月
入選 (二次審査)	『翔たけゴールド・セサミン』	伊藤郁佳
	『西脇幸駅を活性化する!』	藤本理穂



本大会には三名の生徒が決勝の山形へ!!!
片岡美月・宮崎彩矢音・北条彩織

決勝大会出場が決まってから1ヶ月間、うまくいかないことばかりでした。7分間に詰め込む情報が多く、伝えたいことをうまく伝えるには、言葉の言い回しも大切だし、何より感情をこめて発表することが大切だと思いました。デザセンを通して学ぶことも多く、自分自身短時間で成長したことを実感でき、いい経験になりました。デザセンで気づいた足りないところを、補えるような新しいアイデアを考えて、金ゴマ革命を続けていきます。
3年 片岡美月

デザセン3日間の日程

- 21日 6時間かけて山形へ!!!
16:00~会場で大会の説明
- 22日 9:30~リハーサル
(各チーム30分)
- 23日 12:30~本番
18:00~交流会

実際に校長先生の自宅にある畑で金ゴマを収穫させていただきました。収穫した金ゴマは学校へ持ち帰って廊下に干しました。先生やクラスの子も手伝ってくれたので作業がスムーズにできました。カメシガ大量にいたので大変でした。



各チーム割り当てられた教室で一日中猛練習!!!
セリフ変更があり、変更前よりも喋る内容が増えて不安でした。ホテルでは、トイレや風呂の中でもずっと練習でした。

チームサポートの大学生とこの一か月間メールでのやり取りでした。発表内容での的確なアドバイスを頂きとても助かりました。実際山形へ行ってからは、最初はぎこちなかったのですが、徐々に打ち解けあい、最後にはこんなに仲良くなれました!



宮崎さん考案

西脇産金ゴマイメージキャラクター
「金ゴマ大将」



正直金ゴマについて詳しく知らなかったし、パワーポイントも苦手だったので2人に任せきりでした。しかし、山形での最後の追い込みで2人は発表の練習で必死だったので、私が主にパワーポイントの手直しをしました。変更素早く対応できたら1回でも多く練習ができたと思います。また、本番で音声が出なかったときも、事前にそうなったときのことを考えておけば対応できたと思います。このようにやりきれなかったことはたくさんありましたが、今回の反省点を生かして、今後の進路につなげていきたいです。さらに、第二次金ゴマ革命も第三次、第四次へと後輩たちに受け継いでいってほしいと思います。

3年 北条彩織

本大会では生活情報科からは初めての決勝進出、どういった流れで行われるのか全くわからず、最初は不安でした。毎日、最終下校まで残って作業する日々で大変でした。ですが、チームの二人、校長先生や、生産者の徳岡さん、いろんな人に協力してもらい最後にはとてもいいものが出来上がりました。結果は残念せませんでした、とてもいい経験をさせてもらいました。周りの人に支えてもらうことへの感謝の気持ちを忘れずに、この経験を今後生かしていきたいです。

3年 宮崎彩矢音